



# 市民病院だより

市報版

## 小児用肺炎球菌・インフルエンザ菌b型(ヒブ)・ヒトパピローマウイルス(子宮頸がん)ワクチン接種無料化のお知らせ

国東市民病院  
小児科  
半田 陽祐



2月1日から小児用肺炎球菌・ヒブ・子宮頸がんワクチンの接種が、指定された対象年齢の児において無料化されました。

### 小児用肺炎球菌ワクチン・ヒブワクチン

肺炎球菌・ヒブワクチンは、2か月から5歳の誕生日を迎えるまでの児が対象です。これらの菌が主要な原因菌となる細菌性髄膜炎、菌血症・敗血症、肺炎、中耳炎など小児で重症化する危険性の高い疾患を予防することが目的です。諸外国ではすでに実施されている国が多数あり、優れた予防効果が示されています。日本ではまだ定期接種化されていませんが、保護者の皆さんにはぜひ接種の検討をお願いしたいと思います。

接種は年齢によって必要な回数異なります。年齢が上がるほど接種回数が少なくなりませんが、髄膜炎は生後9か月程度が発生のピークと言われています。接種回数が少なくなるのを待つという考えはお勧めできません。

### 子宮頸がんワクチン

子宮頸がんは近年急速に増えている婦人科領域の悪性腫瘍です。初期は症状が乏しく発見がしばしば遅れてしまいます。このがんは「ヒトパピローマウイルス」というウイルスが感染することが、がん発生の原因になることが分かっています。このウイルスの感染を予防することがワクチンの目的です。ウイルスは性交渉で感染するため、性経験者が少ない年齢にワクチンを接種することが予防効果を高めると考えられています。今年度(平成22年度)は平成6年4月2日〜平成7年4月1日生まれの女児が対象です。3月31日までに1回でも接種を済ませておけば、来年度高校2年生相当の年齢になっても引き続き無料対象として接種が受けられます。

平成23年度は新たに平成7年4月2日〜平成11年4月1日生まれの女児が対象となります。がんの早期発見にがん検診が重要であることは変わりなく、検診対象年齢になったら検診を受けるこ

とは当然必要です。また若年での性交渉や不特定多数との性交渉など感染の機会を増やす行動をつつしむことも必要です。加えて予防接種によりウイルスへの感染を予防することは健康増進につながるものと思います。

小児用肺炎球菌・ヒブ・子宮頸がんワクチンの接種は、市内の指定医療機関で可能です。また大分県市町村でも接種できます。詳しくは各保健センター、かかりつけの病院・医院にお尋ねください。



問い合わせ 国東市民病院 ☎0978-67-1211